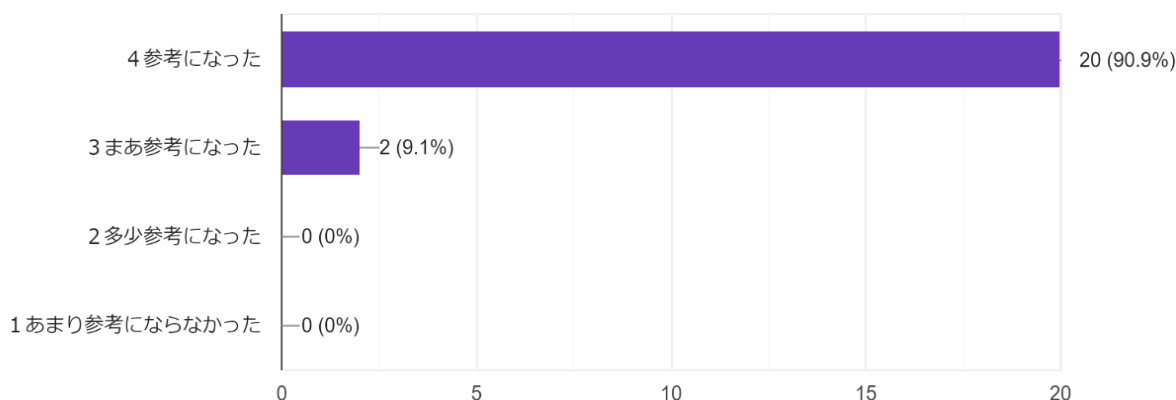


あなたが参加した講座を選び、4段階評価でお答えください。生成AIで、「ラクショウ（楽詳）」小論文指導
22件の回答



生成AIを活用する際に困っていることや、より効果的な活用について学ぶことができました。

どの講座も興味深く、今後の授業やアイデアの刺激になりました。ありがとうございました。

現在受け持っている生徒の中で小論文対策をして欲しいという声が上がっているものの、自分は高校時代に小論文を扱わず卒業したため、小論文指導に不安を抱えていました。しかし、今回高松先生の講座を受講したことで、不安よりも生成AIを活用して小論文指導をやりたい！という気持ちが強くなりました。受講することができて良かったです。

小論文指導において、時間と労力がかかる部分を生成AIにどう助けてもらうかというお話で、まさに困っている部分だったので大変参考になりました。生成AI初心者にも入りやすい内容だったので、ここからいろいろと試してみることで他の分野にも活用する方法を見つけていけたらと思いました。

ChatGPTの小論文添削の活用に目から鱗であった。常に研究と修養を重ねているなかでしかこういったアイデアは出てこないと考えるため、私も一層学ぶ必要があると痛感する出来事であった。

AIでの小論文指導は、不可能だと思っていた部分もありますが、参考になる部分が多く、自分も活用していきたいと思います。

生成AIの活用について、知見がなかったため、まさに蒙を開かれたような授業でした。自宅に戻ってから、大学生長男に頼んで前期レポートの作成で試しに使用してもらったのですが、「考えがまとめやすくなった」と、概ね好評でした。必要な情報を得るための「呪文」の精製方法など、自分でも色々と試してみたいと考えています。ただ、学校に戻ってから、授業で活用しようとしたところ、8月5日付けで道教委よりガイドラインが回ってきており、色々と手続きが必要であることがわかって少しがっかりしています。もう少し時間が経てば、使いやすくなっていくのでしょうか？ 情報を見ながら検討を進めたいと考えています。

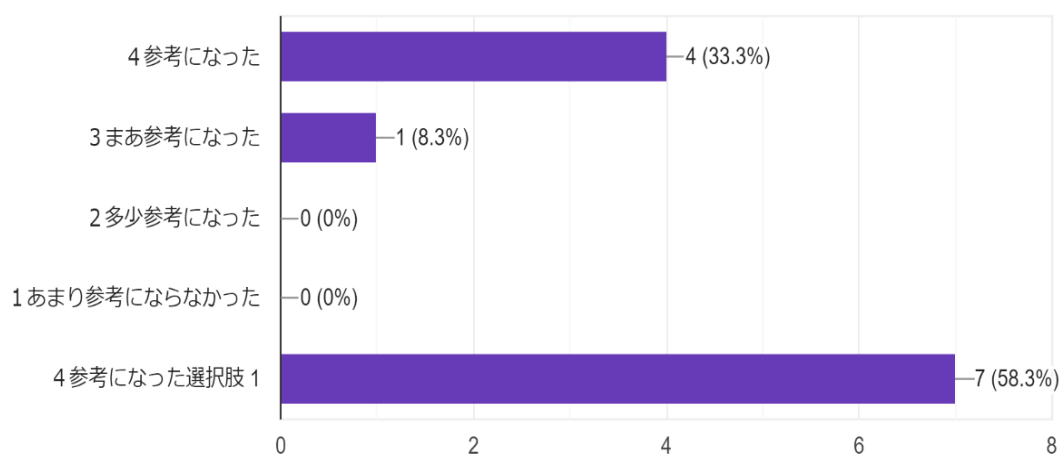
生成AIの効果的な活用のヒントを得ることができたことに加え、小論文指導で大切なことは何かを改めて考えさせられる講座でした。自分の専門外のテーマだから指導できないのではなく質問や対話を通して思考・表現を高めることが重要だと学びました。

小論文を時短で効率よくやってみるという課題解決がおもしろかったです。チャットGPTへのオーダーが質を高めるという点は、問い方や問いの質が大事である発問との重なりを感じられました。チャット君への質問の仕方例をたくさん教えてほしいと思ったのは欲張りでしょうか？

剽窃などの点から「生成AIを使う」のはよくないことではないか、と考えていたのですが、講座を受講して考え方が変わりました。仕事の効率化のために便利なツールとして利用したいです。もしかしたら、いずれは生徒も道具として使いこなせるような指導が必要になるかもしれない、と思いました。

道教委の指針に従って、生成AIの使用に関する研修用動画を視た後、推薦入学希望の生徒のために早速チャットGPTを活用しています。自分の考えをまとめるための手がかりにもなるので、便利さを実感しています。良いことを教わることで、大変感謝しております。

講座B 太田幸夫先生（札幌手稲高校） 「現代の...で「読む」領域の資質・能力の涵養を目指す～」
12件の回答



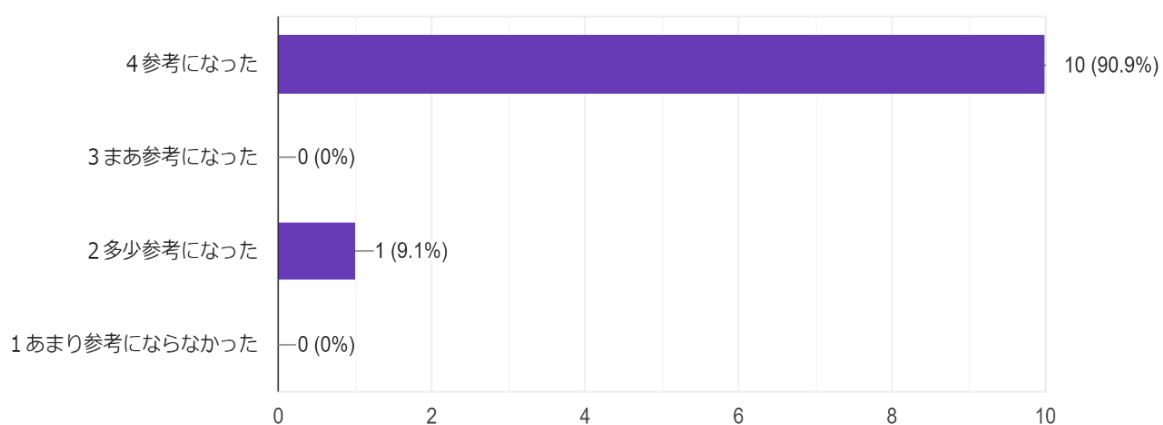
どの講座も興味深く、今後の授業やアイデアの刺激になりました。ありがとうございました。

書かせるためのスモールステップの作り方が具体的にイメージすることができました。ありがとうございました。

講座C 増富 功先生（札幌東陵高校） Google

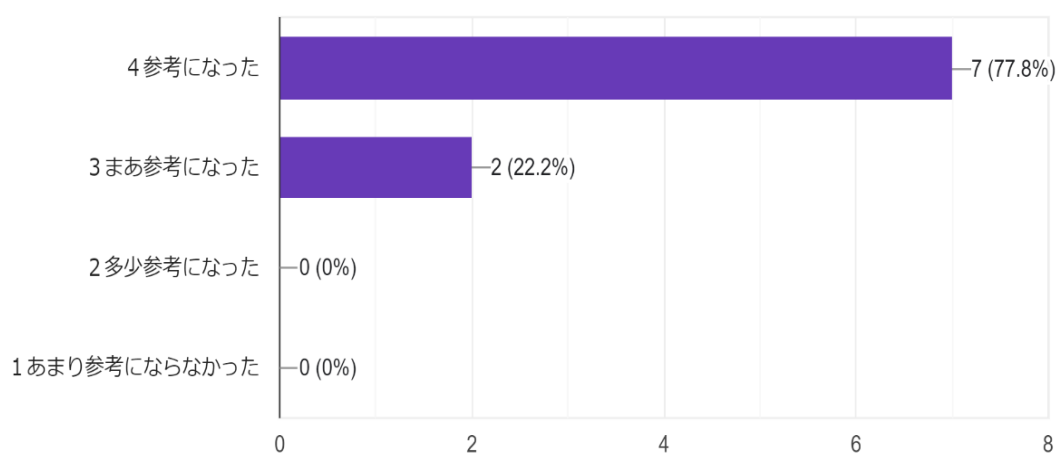
Classroomを使った主体的・対話的で深い学びを実現するための“ちょっとした”工夫

11件の回答



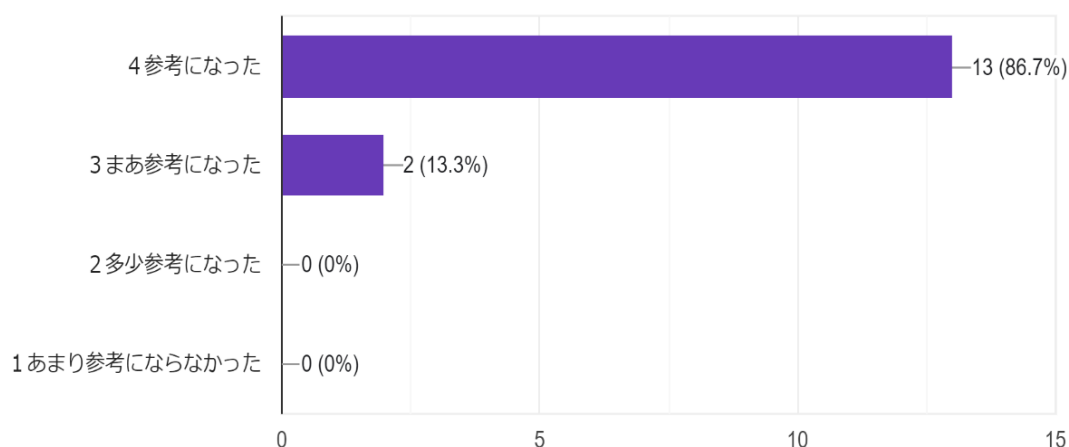
振り返りのGoogleFormを統一することによって、生徒の学力の推移がSpreadsheetに視覚化できる、というのは盲点でした。また、Miroの外部アプリの存在を知れて良かったです。

講座D 大澤拓実先生（札幌東豊高校） 現代の国...る思考力・判断力・表現力の育成とその評価方法
9 件の回答



生徒が続けられる、きつくない言語活動を組織するために「実場面」教材を用意する、という授業づくりの原則を体得できました。質問にも丁寧に答えていただき、大変有意義な講座でした。

講座E 広瀬 篤先生（旭川西高校） 添削指導だ...した相互批評を通して、論理的な文章を書こう～
15件の回答



丁寧に単元を構築されて実践されている様子が大変勉強になりました。もっと具体的な生徒の様子や、上手くいったこと、いかなかったことなども知れたら嬉しかったです。時間も短いので難しいかとは思いますが、ワークショップを少し削ってでも少しそういうお話を盛り込んでいただけるとよかったかなと感じました。

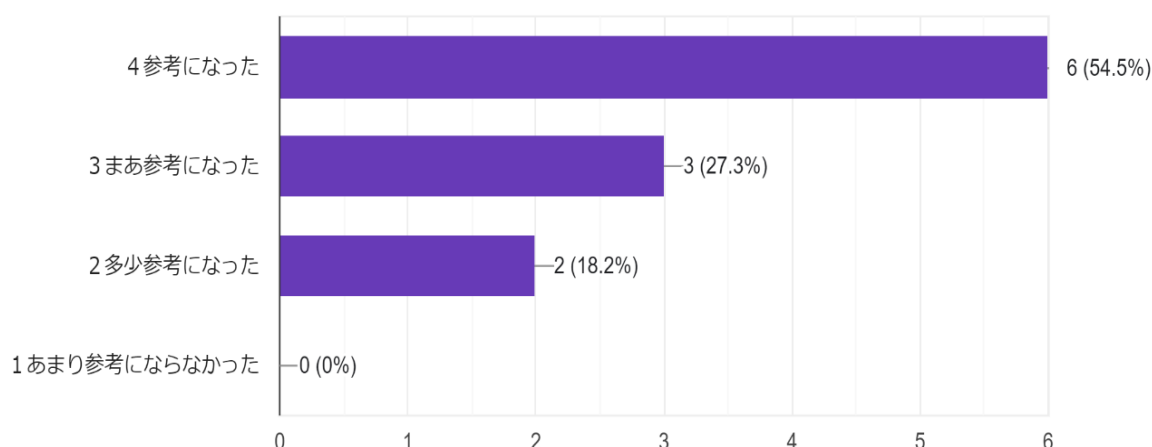
生徒にルーブリックを作らせる斬新さと伝わる文章を書くという部分で、生徒も主体的で対話的な学びを実施することができ、わたしも実践したいと思いました。

読む活動を通して伝わる文章について考えさせ、整理させることで、「どう書けばいいか」を考えさせ、書くことへの指導につなげる実践は、大変面白く、汎用的な書くことの力を身に付けさせる実践だと思いました。

書かせるためのスモールステップの作り方が具体的にイメージすることができました。ありがとうございました。

生徒にどんな文章がわかりやすいか、伝わるかの方向性を生徒自身に考えさせるところがおもしろかったです。比べる文が、読解力を必要とする評論ではなく、書こうとして悪戦苦闘している小論文系だと、さらに書くための参考になるのかもしれないと思いました。

講座F 丸山収也先生（本別高校） 「国語の授業×行動特性学」～生徒の長所伸展をめざして～
11件の回答



どの講座も興味深く、今後の授業やアイデアの刺激になりました。ありがとうございました。

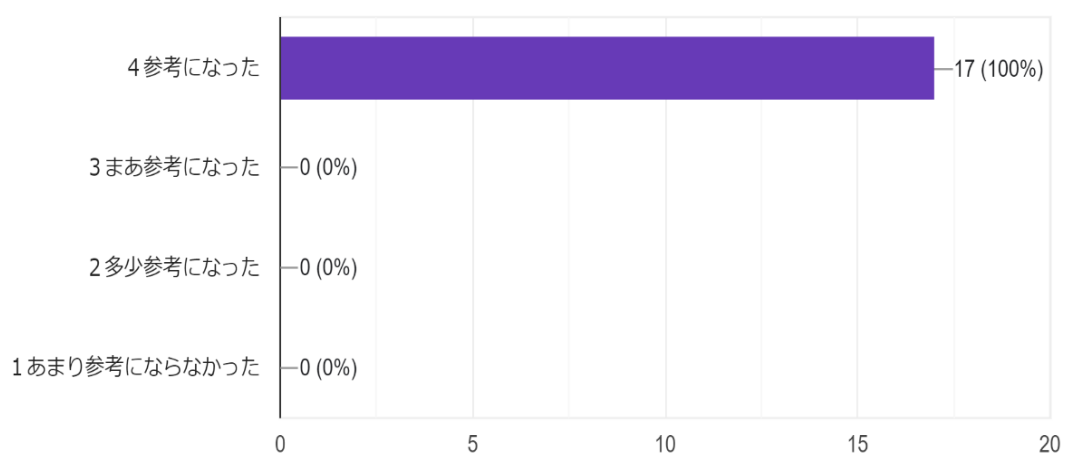
行動特性学という言葉に興味をそそられ、受講させていただきましたが、そういった視点から生徒の特長を捉えるという考えがなかったため、勉強になりました。また日頃の授業の中で若干グループ編成に悩んでいたため、今回の講座で得たことを参考にして、日々の実践に取り入れていきたいと思いました。受講することができて良かったです。

「生徒の長所進展を」というタイトルに惹かれて受講させていただきました。講座の中で先生が仰っていた「隣の人は違う人」というお言葉が、まさに私も常に肝に銘じていることであり生徒にも伝えたいことでしたので、共感を持って講座を聞かせていただいていたと思います。授業の中で生徒の困り感を見つけたとき、「学力」や「国語の能力」の側面のみからアプローチしてしまいがちだったのですが、それだけではなく「個性」や「価値観」「考え方」なども複合的に判断材料にしていきたいと考えました。

生徒理解の新しい切り口を学べた講座でした。また、多様な思考・行動の生徒がいること、グループワークにおけるグループを意図的に編成することで、話し合いの効果や方向性が変わるということも興味深かったです。

行動特性の違いに気づいた上で、こちらのアプローチを複数取り入れるという視点を大事にしたいと思いました。人に表れる面が一側面だけではないところも、自己認識を深めるにはおもしろく感じました。

講座G 大村勅夫准教授（札幌国際大学） 文学指...みましょう！！ ～現代短歌の活用を軸として～
17 件の回答



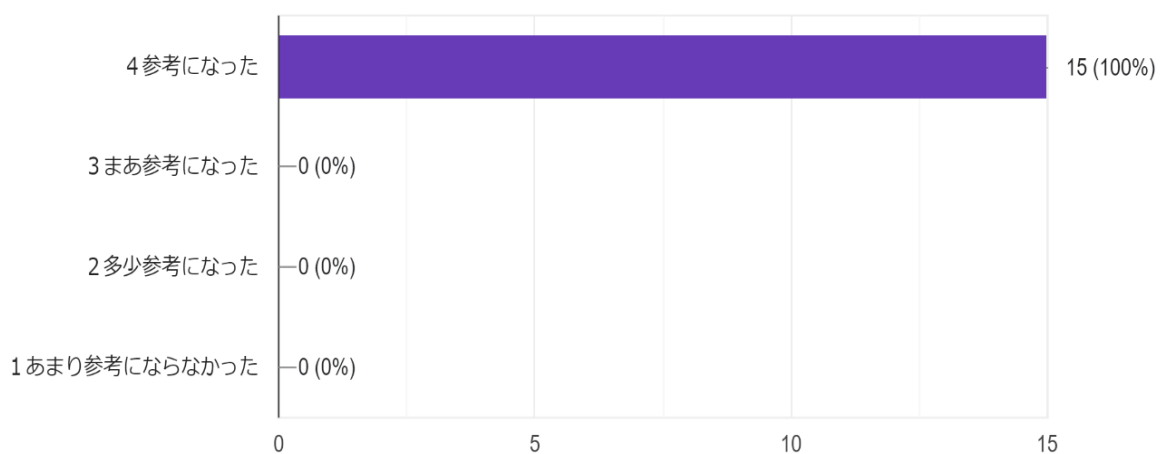
書かせるためのスモールステップの作り方が具体的にイメージすることができました。ありがとうございました。

短歌の読み方について新しい切り口を教えていただき、目からウロコが落ちるような気持ちでした。刺激的な授業でした。ありがとうございます。

短歌は授業でなかなか扱いづらいイメージがありましたが、講座を拝聴しすぐに実践してみたいと思いました。特に、ICTとの相性も良さそうなので来年度タイミングがあれば授業作りの参考にさせていただきます。

講座H 鎌田康平主査（高校教育課） 目指せマス...」&発問力再考「その問いで答えられますか？」

15 件の回答

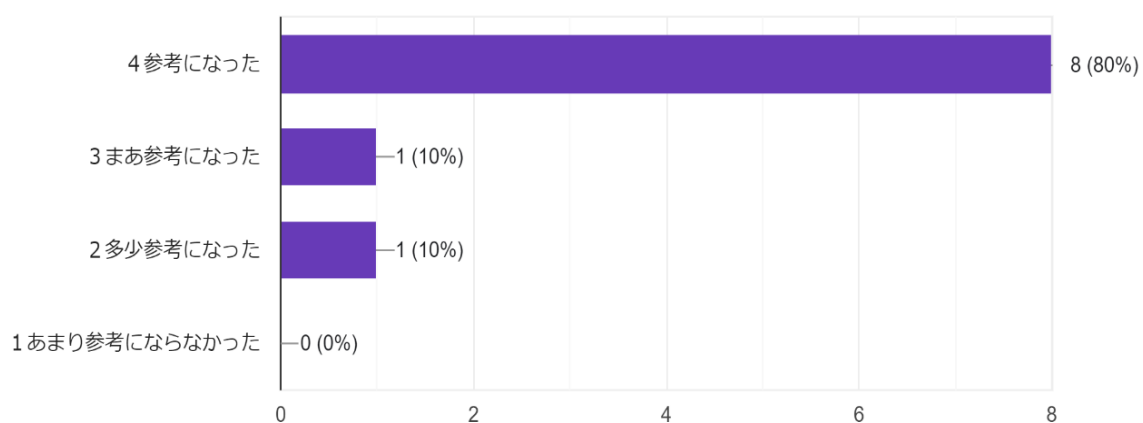


日頃あまり意識していない分野だったのでとても勉強になりました。

講座Ⅰ 滝田尚誠課長補佐（高校教育課）

言語文化における「書くこと」の指導を構想してみましょう

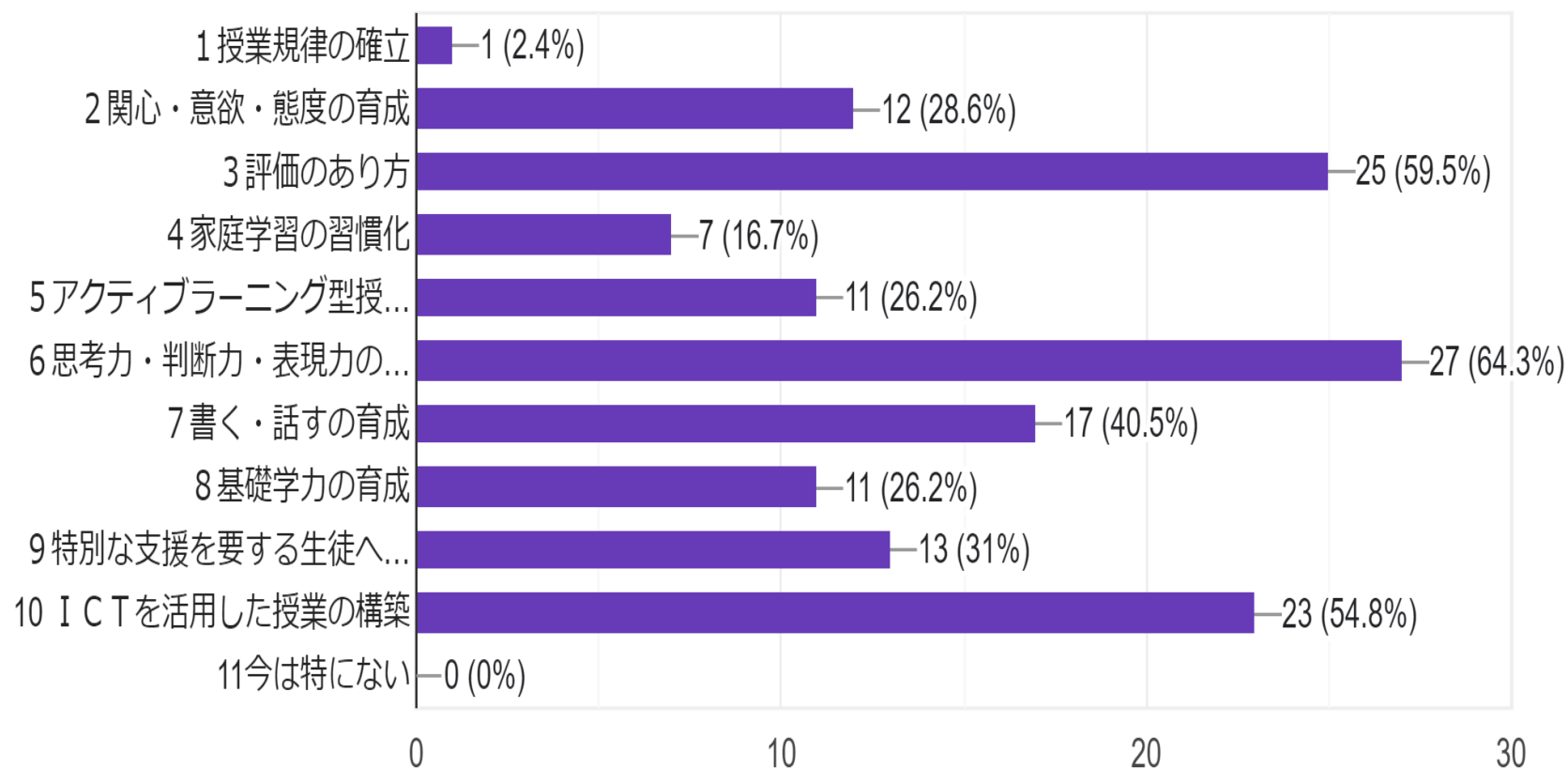
10件の回答



俳句を教材とした書くことの指導について、表現の面白さ・味わいについて実感させることこそが大切なのだと感じた(指導要領の具現化について考えることができた)。

あなたの授業での課題は何ですか。あてはまるものを選択してください。

42 件の回答



あなたの本研究会セミナーへの参加の目的は何ですか。お答えください。

・授業に活かせる新たな発想や取り組み ・他校での実践等の交流

①国語の教科指導力の向上のため。 ②最先端の北海道の実践例を知るため。 ③(しばらく参加できない年が続いていたが)参加できる体制が整ったため。

ICTを活用した効果の研究

いろいろな授業実践や考え方を知りたかったから

より多くの先輩方の授業実践をお聞きし、自分の授業作成の引き出しを増やすこと。

改めて自分の授業改善をするため。

管理職として、他教員への授業力向上の普及のため

教科指導力の向上

教科指導力及び専門性の資質向上

現在勤務している高校には、国語の教員が自分しかいないので、授業づくりの新たな視点を得るため。また、異動に備えて道立高校におけるICT活用について学ぶため。

効果的な指導法についての研修のため

講師として参加しました。参加者の立場で考えるならば、自分の授業を見直す貴重な機会と考えています。

高国研の雰囲気を大づかみするため。

国語の指導力の向上と普通高校の指導の様子が知りたかったため参加した。

国語の指導力向上のため

時代に合わせた授業研究と、新しい知見の吸収のため。

自己研鑽と自校の授業改善のため

自己研鑽のため。また自校でTT展開と一緒にしていた丸山先生の講座を受けるため。

自身のスキル向上と、ほかの教員との交流

自身の教科力向上と他校の先生方との交流を通して知見を広げること

自身の授業実践力の向上のため。

授業づくりの参考に

授業のヒントを得るため

授業改善

授業改善に向けた新たな知見を得るため

授業改善のきっかけのため。また、国語教育に関するひらめきに出会うため。

授業改善のため。

授業改善のため。

授業改善のために、自分にはなかった視点や情報を得るため

授業改善のヒントを得るため(管理職なので、先生方の授業改善を進めるヒントが得られればと思って参加しています)。また、将来的には授業者になりたいと思うので、そのためにせめて多くの実践を学びたいと考えています。

授業研究、授業改善のため。

授業構築の手がかりをえるため。

授業実践における優れた考え方に触発を受けるため。

授業力の向上、ICTの活用

授業力向上のため

先生方への御挨拶

総会出席と研究会の運営する中での今後のあり方についての考察機会とするため

他者の経験を参考に自身の指導力を向上させるため

日々の授業の理解度・充実度の向上

優れた実践、実践者から自分に取り入れられそうなエッセンスを見つけること。他校の先生と交流すること、繋がりを広げること。

今後、本研究会セミナーで開催してほしい講座内容があればお書きください。

「水の東西」「美しさの発見」「とんかつ」などの定番教材を、いかにして現代の若者にフィットするようにするか。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価について(評価材料、方法など)、教科間連携(総探を含む)

①授業開きの実践例。②生徒を主体的に動かすための戦略。③教科横断的な授業の実践例。

ICTを使った古文、漢文の授業など、

どのように教材を探すか

ワークショップを中心とした、「思考力・判断力・表現力」を伸ばすための授業実践等あればぜひ。ICT等を活用した流行はもちろん、時代に左右されない不易の技術や
思いも知りたい。

運営者がファシリテーターとなり、1テーマで先生方が自由に話せる場を作る

学力差のある教室での授業展開の実際

久しぶりに参加させていただきました。もっと演習と先生同士の話し合い中心にしてくださいとありがたいです。講義形式だと、高教研との区別があまりつかないような気が
しました。

現場の教員の観点別の学習状況評価の実際

現代文読解

言語活動もちろん大切だと思うが、その言語活動に取り組むまでにどのようなことを日々実践(＝言語活動までのプロセス)しているのかより詳しく知りたい。

古典分野の思考を深める学習活動について

考える力をつける授業や合格させるためだけでなく小論文指導をされている方の実践を聞きたいです。

講座内容には満足しています。

指導と評価(主体)の一体化

受験対策が必要ない学校の古典探究

小規模校等で担当されている先生方の悩みに答える講座と複数の先生方で担当している学校で抱える課題に答える講座

生成AIの活用に関しては、今後もいろいろな先生の取り組みを拝見したいと考えています。

生成AIや著作権、学校図書館の活用に関する講座を取り入れていただければ嬉しく存じます。

比較読み(類似の評論文／評論＋古典などの教材探し)、小説抜粋・問題作成の方法、文芸創作の考え方、文芸批評の授業化、演劇教育×国語

論理国語など説明的文章の授業が單元ごとに目的が違っても読解すると同じような展開になりがちです。引き出しを増やしたい。

論理国語について

論理的な思考力を育成するための教材研究と授業の実際

高松先生は「もう還暦だから…」とおっしゃっていましたが、来年も受けたいです

本研究会セミナーへの参加が増えるためのアイデアがあればお書きください。

①今回のようにリモート共催にすると参加しやすいという人も多くなるかと思います(他方、現地に行くことが過度なメリットにならないような運営の仕方も重要かと思います)。そもそも発表者もリモートでも可としてもいいかと思います。②若手教員への声かけを強化していくのはいかがでしょうか？

会員制だけではなく、1講座のみでも気軽に参加できるようなシステムをつくってはどうか。

講座形態を無理にハイブリッド形式にするのではなく、オンライン開催のものと同開催のものに分ける。講師の希望や演習内容によって判断する。

誰もが真似できる(言葉のニュアンスが正しくないかもしれませんが)授業実践の紹介を中心にした方がいいかと思います。

コロナ禍で一時途絶えたネットワークづくりの機会提供と、参加することでお得感のある研修機会の提供が大切だと思います。

参加者同士が自校の取組について語れるような時間がつくれたらよいと思います。年齢や経験を超えて、先生方の声を聞くことで、つながりを持ちたい、もっと勉強したいという気持ちをもった方が交流できる機会になると考えます。また、自身が参加したいかどうかという視点だけでなく、高国研を活性化していこうという気持ちを持った国語科の先生方を増やしていくことが大切だと感じました。遠方から時間とお金をかけて学びに来られる先生方もいますので、来てよかったと思える研修会を力を合わせて作っていきたいです。

リモート参加の方も協議ができる講座を設定すると、当日会場に来ることが難しくても、参加者が増えると思います。

日程の工夫があるとよい。

現状、対面・オンライン併用で、8月上旬開催で、土曜日開催もありかと思う。・管理職より関係教諭への声かけ

一度特別支援センターと結託して、特別支援の国語の講座を増やし、特別支援の先生を大量に巻き込むのはいかがでしょうか。

定時制や職業科、地方の一間口の学校で困っている先生や新任者、初任段階の先生にアンケートをとる

自身が声かけしていくしかないのはもちろんのこと、母校の大学等にも連絡してみる必要がある。

①SNSの活用。例えば日常的に役立ちそうな情報をSNSで発信し、興味を持ってもらう。役立つ情報があると分かれば、セミナー参加者が増えるとうと思いました。②ターゲットの明確化。例えば1間口で勤務する(特に初任段階教諭)は日常的に同教科の教員と接する機会が少ないため、1間口(初任段階)で勤務する教員が困りがちな内容の講座を設けたり、そういった学校に積極的なアナウンスを行ったり初任研で広報したりする。

他教科の先生でも、面白い取り組みがあれば積極的に拝見したいです。各所の文学館や図書館の先生に収蔵資料の活用のアイデアなどを伺う取り組みなど、楽しいと思うのですが。

講座自体は魅力的だと思いますが、強い気持ちがないと参加にはつながらないと思います。各地区の国語研究会が活発になり、その先生方で声を掛け合って参加するような流れができないものかと考えます。

すぐに持ち帰って授業に反映できるような興味深い講座を、いっそう増やせれば…と思います。

どんな研究会も若い方にとっては、ふらっと気軽に1人で来るには敷居が高いものです。「根気よく参加し続けていると、相談できる仲間ができていくよ」と職場の先輩や初任研指導者からお話することは、既にされているかと思います。あとは参加された方たちが互いに声をかけ合う工夫です。各講座でせっかくグループワークしても、その後広がる隙、余裕がない。誰と一緒にだとか、あの方ご存知ですかとか、お話しして深める前に次の講座が始まってしまいます。

また、参加しない方の理由に「自分の勉強したい講座がない」が挙げられます。今の自分に還元されないから出ないという発想です。そうだけど、そういうものではないと、教える人って誰なのでしょう。でも案外実は、「1人で行ったら、すでにコミュニティができている感じ」が嫌なんだと思います。仲良く話している人がいて、自分はボツンとしているのが楽しくない。だから、今回の情報交換会の参加者で、特に若い人に声かけていこうよという話をしていました。

来年度の募集の際に、今年度実施した講座の一つ(もしくは複数)の動画を流してはどうでしょうか？ 少人数で和気あいあいと参加者が意見交換している様子を伝えれば、「行ってみようかな」という気になるかもしれません。

「全国教員研修」に準ずる資格要件と満たすことをアピールする／国語の管理職の皆様の職場で、もう一声かけて頂く

管理職の集いというイメージの払拭(びりびりしていました)／堅苦しさから、よりざっくばらんとした場にできたらよい(10年前はより柔和な雰囲気だったような)／メンターがいて、若手教員同士が話し合い、より気軽に発表し合えるようなゼミ形式の集いでよいのでは(飲み会も緊張せずに楽しめるような場に)

予算上難しいかもしれませんが、以前やった、俳句の夏井いつき先生の講演会などのような講演会があればよいと思います。

模擬授業が見られると嬉しいです。

1人1名ずつ連れて参加する。管理職も気さくに参加して、先生方に声をかける。

他教科の先生方の面白い取組などもうかがえる場があると、教科横断的授業のの参考になるかと思うのですが、難しいでしょうか。

当日の運営等について、お気づきの点がありましたらお書きください。

zoom参加させていただきました。当日資料配布の講座の際、途中入室の場合だと、最初に送られたであろうチャットが見ることができませんでした。また、画質が荒い関係で映し出されている資料がはっきり見えないこともあったため、お手数ではあるのですが、事前に資料を配信していただくか、その講座中であればいつでも閲覧可能なGoogleドライブのリンクを教えていただけたらとてもありがたかったです。ですが、zoomでも講座を受講させていただけるだけでありがたかったです。ありがとうございました。

いつもありがとうございます。

オンライン講座の運営について。スライドを使用するものは基本的には講師にもzoomに入っていただき画面共有ができる方がスライドが見やすく良いと思いました。また、協議が多い講座についてはオンライン参加の人もブレイクアウトルームやチャットなどでオンライン参加者同士話し合えるような状況を設定にした方が良いのかなと感じました。今回の場合は各講座がブレイクアウトルームの設定だったため、その中でブレイクアウトルームを作ることはできなかったかと思います。

お疲れ様でした。

コロナ禍を経てzoomでの参加者が増えたように思いますが、以前の顔と顔を合わせた形の研究会の方が互いの思い(苦悩も含めて)を伝え合えていたと思います。zoomは利便性は増しますが、研修の効果は低いのでは(参加しやすいので参加者数は維持できますが)。講師の方々(皆さん素晴らしいです！)の中に若い方がいないような気がしました→若い人がアイデアを共有し合えるゼミ形式にして、一方向的な研究発表ではない形がよいと思います。

とても快適に研修させていただきました。運営、ありがとうございました。

ネットワークの利用届ですが、事前に配布していただけたら記入済みのものを受付の時にお渡しできるので提出、未提出の確認がしやすいのではないかと思います。

リモート参加させていただけることとなり非常に助かりました。ただ、マイクの位置の関係か、声が聞き取りにくい講座もあり、今後の参加者を増やす体制づくりのためにも改善していただければと感じました。

リモート参加でしたが、非常に見やすい・聞きやすいオンライン研修でした。

運営ありがとうございました。

運営の先生方におかれましては、お忙しい中ご尽力下さり、誠にありがとうございました。

運営の先生方には、いつも大変お世話になっております。ありがとうございました。

遠方のためリモートでの参加でした。対応していただいた先生、運営の方々ありがとうございました。音声や資料の共有等には課題がありますが、参加の機会をいただけて大変ありがたいです。機材や人手の余裕があれば、外部マイクや資料の画面共有なども検討していただきたいと思います。

夏期講習等ある中で、札幌西高校さんには大変お世話になりました。クーラーや機材の準備等、ありがとうございました。また、事務局や運営委員の先生方には、準備・当日の運営等ご協力いただき、本当に感謝しています。次年度より会費も上がり、参加者がどうなるのかという不安もありますが、各管内でも声かけしながら、高国研が実りあるものになるようにしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

会場校の柔軟な対応があって、不安なく開催できたと思います。

快適かつ円滑に参加することができました。

事務局校、運営委員の皆さまに心より感謝申し上げます。

西校はバス停から近くてわかりやすかった

素晴らしい対応でした。ありがとうございます。

総会資料のデジタル化は大変画期的な取組だったと思います。

大変にお疲れ様でした。

大変よい学びになりました、ありがとうございました。

昼食の斡旋をやめたのは良かったと思います。色々な面で、省けるものは省いた方がよいと思います。

弁当配布なし、生ごみの処理がなくて大変よいと思います。運営の皆様、準備等ありがとうございました！

毎年のことですが、石狩地区の副校長・教頭先生に負担を掛けてしまっており、申し訳なく思っています。教頭が複数の講座に参加できる方法にいただいたのは大変ありがたく、勉強させていただくことができました。

その他、本研究会に対するご意見やご要望等ありましたらお書きください。

いつもありがとうございます。

いろいろな方の取り組みやアイデアが伺えるのが何より楽しいです。今後どうぞよろしくお願いいたします。

もう少し、演習を通して参加している先生方と対話的に学ぶことができればいいかなと。

(私が前回参加したのは令和元年の時ですが、その時のセミナーは演習と対話が多く、その中での学びが大きかったです。ご検討いただければと思います。)

運営に携わる先生方、どうもありがとうございました。

運営の皆様、お疲れ様でした。とても良い勉強をさせていただきました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

会場選定や当日の準備、リモート環境の設営までお疲れさまでした。講師として講座を担当させていただき、大変良い経験になりました。ありがとうございました。

高齢の方を中心に参加者の減少傾向が続いていますが、若い方の目線を上げて頂くことが、長期的には会の(北海道国語教育の)充実につながると考えます。講師はともかく、(手当無給ながら)運営に係わって頂いて、研修のイメージを強く持って頂くこともあっていいかなと思います。

今は特にありません。何かあればまたお伝えします。

今後のご発展をお祈りします。

初任一年目の自分には勉強になることばかりでした。ありがとうございました。

色々感じたことを書きましたが(申し訳ありません)、私自身が国語教育の研究をしっかりしていかなければならないこと、研究発表の機会を求め、実践することが必要だと反省しました。

大変勉強になる研修、誠にありがとうございました！

本日はありがとうございました。夏季休業明けのモチベーションになるような研修会でした。次回以降も参加したいと思います。